

第2回 四條畷市田原活性化対策本部会議 概要

日時：平成30年1月11日（木） 午後7時～午後9時20分

場所：四條畷市立グリーンホール田原1階 なるなるホール

出席者（敬称略）

相談役：上田原区長、下田原区長、緑風台区長

本部委員：21人

東 修平、旭 恵美里、岩城 令子、大橋 秀樹、奥田 進久、奥村 博、
相良 佐知子、谷 秀夫、内藤 壽、中西 洋右、西川 益美、平松 茂、
寶谷 敏男、前原 園代、南佐 幸子、森川 陽子、森田 祥彦、安田 成弘、
山本 敏秀、笹田 耕司、開 康成

事務局：3人 塩見、森田、楠

傍聴者：3人

1 本部長挨拶

途中前回欠席の谷委員からの自己紹介

2 各班によるグループ討議（ は行政職員）

平成30年度予算に反映すべき短期的課題について

1班 旭、奥村、寶谷、南佐、森田、山本、笹田

2班 相良、谷、内藤、西川、平松、森川、開

3班 岩城、大橋、奥田、中西、前原、安田、塩見

3 各班5分以内での発表（発表順3班→1班→2班）

3班による発表

① 駅につながるアクセスの確保、コミュニティバスの充実

平日と土日のダイヤの差があり特に、土曜日の午前7時台に四條畷駅への快速便がなく高校生の通学が不便。

全体の便数を変えずに快速便を増やすなど、ダイヤを組替えれば改善できると考えます。また、平日の午前8時を過ぎると四條畷駅に行く快速便が少なくなり、昼間に田原から出かけにくい。料金やルートに加え、バス停に駐輪場の整備も行いたい。

② 防犯、防災の強化（安心、安全なまちづくり）

行政だけに頼るのではなく住民も一緒に考えなければならない安心、安全な

まちづくりに向けて、防犯カメラの充実などの意見がありました。

③街の整備

街路樹の整備や歩道の除草の回数を増やす。

また雑草を刈るだけでなく刈った後の雑草が生えにくくなるような対策をする。

1 班による発表

①バス停に照明の設置

例えば、緑風台のバス停は夜になると照明設備がないので暗い。

小学生や中学生が塾などに行くのか、暗いなか一人でバスを待つ姿を見かけます。子どもたちの安全のためにも照明が必要だと考える。

併せて、庇やベンチなどもあればいいのでは。

②防災、防犯について

現在、防犯カメラは市で設置したものと自治会で設置したものがある。

まず、現在、設置している防犯カメラは、本当に最適な場所に設置しているのかを再度確認のうえ、最適な場所に増設していく。

③活動団体などのアピールについて

田原地域では、貸農園や様々な活動が行われているが知らない方が多い。

たくさんの人に知ってもらうために、市のホームページを使いやすく変えてもらいたい。

なぜなら、私が活動する「子育てサロンカンガルーホップ」を市のホームページ上に掲載してもらってるが、pdfファイルのため検索してもヒットしない。

若いお母さんたちは、スマートフォンなどを使い検索すると思うので、市のホームページを検索しやすいものに変えてもらいたい。

2 班による発表

① イベントの共催（例：リユースイベントと犬のマナー教室）を行い、より多くの方が参加できるイベントを実施する。

② 観光大使を利用し田原地域のアピールや案内板などにQRコードをつけ、周知の強化を図る。

③ 住吉神社や公園などで「てづくり市」や「ロハスフェスタ」などの開催し田原地域以外の人たちも田原に来てもらう。

④ 田原地区の情報を収集し発信するコミュニティの創設

⑤ 田原での様々な活動を行っている方や団体を発掘するにはどうすればいいかを議論した。市の役割は、そのようなことをアピールしていく場の提供することだと考える。ここに住んで良かったと思える街にしたい。

4 意見交換

本部長： ここからは班という垣根を越えた意見交換を行いたいと思います。

先ず、3班のコミュニティバスに対するご意見ですが、残りの時間では議論しつくせない非常に重要なテーマで、なるべく早期に取り組んでいかなければならないと考えています。

しかし、本日の会議の主旨である活性化対策本部として平成30年度予算措置という面から、次回以降に議論させてもらいたく、本日の議論の的を絞るという意味でもご理解いただきたいと思います。

では、各班に共通していた意見としては防災、防犯でした。

1班の意見では防犯カメラの最適配置を考えるという意見があり、これまで私も地域との対話会では、防犯カメラを単に増やしてほしいとの声はありましたが、最適な場所にとの意見は何う事が多くないので、1班での議論の内容について教えていただきければと思います。

委員： 小学生の通学路の安全という観点から私の住む地域では、過去に痴漢などのあった場所に配置しています。

各自治会での判断ではなく、田原地域全体の防犯をとらえて設置場所を考えていくべきだという議論でした。

本部長： カーブミラーについては市で設置基準を設け、点数化により設置しています。防犯カメラについてもより客観的な基準でみて、整備していくことが、限られた予算のなか地域の安全につながるという意見かと思います。

基準をつくることについては、行政の仕事だと考えていますので、一度預からせてもらいます。

委員： 自治会の設置する防犯カメラは、田原台に限っての話ですが、各自治会が個々に設置しているのではなく、奇数月に行っている防犯委員会で検討のうえ田原台に出入りする車のルートへ設置しています。

本部長： 田原台での取組みを教えてくださいありがとうございます。

次に、1班、2班の共通した意見でアピールの部分について考えていきます。素晴らしい取組みを行っている方や団体のことが広く知れ渡っていない問題意識のなかで、「たわら通信」を始めました。

1班の発表であったとおり、子育て世代となるとWEBサイトを利用されることが多いと思います。

市のホームページは、新しいページの追加ができるシステムになっています。予算がかからないので、一定のルールのなか、迅速に出来ることを考えさせてもらいます。

次に、犬のマナーの話がありましたが、市全体でも犬猫の糞尿や飼い方のマナー問題がよく議論になっています。2班からのご意見でしたが、他の班ではこのような意見はなかったですか。

- 3 班： 空き地を利用してドックラン設置してみてもどうかとの意見が出ました。
- 本部長： 私は車で田原に伺うことがほとんどなので、住んでいる皆様は歩道などで犬猫などの糞尿は気になりますか。どのような認識ですか。
- 委員： 犬の飼い方教室の事業をとという提案がありましたが、大阪府の保健所事業として自治会や田原支所などで保健所に相談すれば可能だと思います。
- また、戎公園で犬のリードを外して遊ばせている方がおり、子どもたちが遊べないことがあると聞いています。
- 本部長： 保健所が行う犬の飼い方教室などの情報発信についても考えていきたいと思えます。
- 公園マナーについては利用者間の思いやりが大切であり、行政が正すよりも地域内での声掛けをしていただければと考えます。
- 委員： 犬のマナーについてですが、私には幼稚園の子どもがいるので、公園などによく散歩に出かけます。公園や遊歩道に放置された犬の糞を見かけることがあります。
- この年代の子どもは落ちている物に興味を示し、特に「うんち」なんかには面白がります。
- マナー教室の話がありましたが、マナーの悪い方は教室に参加されない方が多いと聞きます。
- そういった方々に楽しく参加してもらえればと思います。
- 本部長： イベントでのマナー教室を組み入れることは、全体のなかで考えさせてもらいたいと思えます。
- 次に気になったのが、バス停の照明等の設置です。技術的に設置可能でしょうか。支所長どうでしょうか。
- 支所長： 田原台内は住宅都市整備公団が整備した際、バス停に上屋と照明を一部設置しています。
- その後、地域の要望などで1丁目には現在のバス停に上屋等ができました。緑風台のバス停は、上屋等がない状態で現在に至っていますが、技術的には可能だと考えます。
- 本部長： 防犯灯については、市全体の予算のなかで自治会などの要望によって順次設置しています。この制度を使っただけなのが近道だと思います。
- 委員： 9丁目（緑風台）バス停の照明ですが、は8月から9月ごろに要望を出しましたが、ポールを設置が必要などの理由で未まだ設置されていません。
- 1丁目のバス停は自治会からの要望し、設置に至りました。
- 本部長： 一定の基準はありますが、予算枠のなかで設置が決まれば整備させていただきます。
- 次に、委員で各班に対しての質問やその他のご意見はございますか。
- 委員： 先ほど犬のマナーの話がありました。これは、飼い主のマナーの問題だと思います。
- 事務局から頂いたアンケート結果のなかでカーブミラーの要望が多くありました。

それを受け、私自身、田原台を車で回ってみたところ、必要などころには全て設置されていると私は感じました。

先に議論があったとおり飼い主のマナーと同様の問題で、交通ルールを守ることが必要で、カーブミラーの設置の必要はないと私は考えます。

本部長： グループ討議のなかで挨拶の話がどの班にもあったと思います。

マナーのお話ですが、私はいろいろな市の方とお話をさせていただく機会が多く、四條畷市の方は非常にマナーが良いと他市の方からよく言われます。

四條畷市の住民はマナーが良いということ意識することが大事だと思います。

委員： 話は変わりますが、市のインターン生が発信しているツイッターをよく見えています。非常に面白く、これからも催しなどの情報発信に利用してもらいたい。

本部長： インターン生がツイッターを始めてから閲覧数が約5倍になっています。

若い世代へ田原支所からも大いに情報発信する予定です。では、ここまでの会議をご覧になって、相談役からご意見いただきたいと思います。

相談役： 犬の飼い方教室の話がありましたが、議論では保健所が行う堅苦しい事業ではなく、イベントとして気軽に参加できるものという意見だったと思います。

まちづくりには遊び心が必要であり、田原地域全体が楽しく暮らせるまちになればと考えます。

本部長： 保健所で行う事業の情報も大切です、イベントとして参加者が楽しめるということも大切だと思います。

相談役： 防犯カメラの設置場所の件ですが、区長会でも議論をしています。

市内のカメラの設置場所と向きを地図上に落とし込み、取りまとめてほしいと危機管理課に要望しています。

それをもとに地区として次の設置位置の検討材料にしたいと考えています。

本部長： 市で設置した防犯カメラは市内7小学校区に7台の4延べ9台と南中学校の休校に伴い畷中学校、西中学校校区に15台増設し合計64台設置しています。

詳細な位置や向きの情報を広報誌などで周知してほしいという意見がある一方、犯罪などの抑止力の面では設置場所を明らかにすることは、非常に難しいと思います。

行政として一元的に把握しておく必要があり、昨年、四條畷警察、大東市、四條畷市で協議会が立ち上がり、防犯への取組みが始まりました。

警察にも入ってもらい、設置場所の把握や公開の範囲について危機管理課と検討中です。

相談役： アピールについての話がありますが、私たち下田原区では、毎年12月に飯盛霊園で地場野菜を販売する青空市場を開催しています。

下田原区では、イベントを実施する前に広報板と広報誌を用い、周知啓発に努めています。このような方法も利用してはどうですか。

本部長： アピールの方法として SNS やホームページ、皆様のご自宅に届く広報誌や田原通信があり、その中間に広報板だと思います。

いろいろな媒体を活用するべきだとのお考えであり、まさにその通りだと思います。

事務局： 本部長、残り 5 分となります。本日のまとめをお願いします。

本部長： わかりました。

委員： 田原地域の活性化に向け、この会議で議論を行っている。

この場に区長さんは相談役として出席されているが、自治会長はご多忙なのか出席されていない。

これから議論を進めていくにあたり、果たして我々だけの議論でいいのかと思います。

ここでの議論の内容を自治会に投げかけ、議論に巻き込んでいく必要があるのではないか。

先ほどから議論になっている防犯灯や防犯カメラを設置するには警察の意見も必要ですが区長や自治会長の理解と協力が必要です。

この場に自治会長にも出席していただき、意見交換する場を設けていただければと考えます。

本部長： まさにご指摘のとおりだと思います。

この会議ですべてが決定するのではなく、自治会連絡会や区長会での議論、懇談会やアンケート結果など、様々な意見を集約のもと、田原地域の意見を一つにしていくプロセスが大切だと考えています。

市役所では、これから約 2 週間で来年度（平成 30 年度）予算の調整が大詰めを迎えます。

本日の班で議論していただいた意見と発表まで至らなかった意見、これまでのアンケートや懇談会の意見も踏まえながら、優先順位を意識しつつ田原支所で取りまとめを経て、財政部局にしっかりと議論してもらいます。

予算として議会で議決されるのは 3 月になります。次回の第三回田原活性化対策本部会議で予算状況についての報告ができると思います。

また、全体的な施策や中長期的な取組み、本日議論できなかったコミュニティバスの問題などの主要なことを次回以降中心に議論を進めたいと思っています。

予算措置については皆さんの意見を踏まえて田原支所に一任させていただきたく、よろしくをお願いします。

事務局： 次回の第 3 回田原活性化対策本部会議は

平成 30 年 3 月 28 日（水）午後 7 時から、グリーンホール田原、なるなるホールにて行います。

議案は、平成 30 年度予算措置、予算措置を伴わない短期的課題、中長期的課題に及び、その他とさせていただきます。また本日のアンケートをお帰りの際に提出をお願いします。

委員： 本日の議論で防犯灯について、地区を特定したものがありませんでしたが、田原地域全体として考えていただけるのでしょうか。

本部長： ご心配いただいている懸念は起きません。防犯灯にかかわらず、すべての取組みは、

市域全体を鑑みながら行っていきます。

本部長： 他にご意見や報告はありませんか。

支所長： 平成29年11月21日開催された公共交通会議の内容について報告いたします。

第1回は会長、副会長を選任のうえ、事務局から公共交通に関する現状の説明があり、市民アンケートとコミュニティバス利用者調査を実施することが決まりました。

また、調査については、各区長、自治会長の協力をいただき、広報板などで周知していただいております。アンケートの調査期間は1月4日から1月19日の間で、対象は中学生以上の無作為抽出2,000世帯を対象に実施している最中です。

本部長： 他にありませんか。ないようですので、これで第2回田原活性化本部会議を閉じます。

第3回 田原活性化対策本部会議（予定）

開催日時：平成30年3月28日（水）午後7時

開催場所：グリーンホール田原 1階なるなるホール